

心の和がれ No.41

(2013/3～4)

p 01～01	野鳥の訪れ	p 03～03	体調に異変が
p 01～01	急がずゆっくり PC	p 03～03	新緑の入学・入園式
p 02～02	花の香りを楽しむ	p 03～04	恥ずかしながら
p 02～02	子供たちの成長	p 04～04	本年の行動指針
p 02～02	夫婦和楽		

2013.03.03

・野鳥の訪れ

3月弥生、草木いやさらに生うる「いやおい」がつまったもの。春、すべてのものがいよいよ伸び育つ心が含まれている。庭の花梨の芽がほころびクリスマスローズに鮮やかな空色の寒あやめが満開である。山茶花の蜜を求めて飛来するメジロには悪いが、大きく伸びた山茶花の剪定をしたために花弁が少なくなり、蜂蜜を器に入れ枝に吊るしミカンを輪切りにして飛び交うウグイスやアカゲラにジョウビタキの姿を窓辺で眺める。◆我が姿を客観的に見て身近で自然を楽しむ贅沢なひととき、また暇なんだろうな。齢74になって妻が丹精を込めて育てる樹木に関心を持つようになったんだ。たまには何も考えずにボーっとしていることも精神的に必要なだろう。

ヒヨドリが千両の実をついばみ赤い実もなくなったが、そもそも庭に自生したのも鳥の糞に種が混じって発芽したもの自然の営みを感じる。◆「一花開きて、天下の春を知る」「一葉落ちて、天下の秋を知る」自然の営みの僅かな現象を見て大勢を予知する、先人は自然の営みから多くの知識を得たのでしょう。文明の発展とともに、自然の営みをないがしろに進む現代。野鳥しかり野山で自由に飛び交い、人もまた心を通わせ絆の大切さを重んじる社会はいつ帰ってくるのだろう。

2013.03.10

・急がずゆっくり PC

今週は多忙を極めた。「心の和がれ」のアップもできず。休んでしまったが、拙生の役たらずに活動の機会をいただくことに感謝している。来週もまた多忙だが、現在愛用のパソコン WindousXP 作動が遅くなり、気ぜわしい性格の拙生には我慢できず買い換えた。我がアトリエのど真ん中に置いてあるが未開封だ。Windous8で CPU：intel Core i7 メモリ：8GB ハードディスク：1TB。来年には喜寿を迎えるが老化防止には最適かも？地域活動にはパソコンは必須。早く開封して設置と思うが、今はノート PC の Windous7が補助の役目、気持ちも流行るが、ま〜あ・・・ゆっくり急がず参りましょう。

2013.03.17

・花の香りを楽しむ

「本日は晴天ナリ」「我も元気いっぱいナリ」梅に目白が沈丁花が香しく黄金色のミモザが風になびく、暖かい陽を受けて日課となった夫婦して散歩に春の香りを満喫しているが、9時以降は地域活動に奔走。買い求めたパソコンのセッティングも出来ず梱包内で待機中で来週には何とか・・・そんな訳で「心の和がれ」の内容も記載出来ず、今週はこれにて失礼します。

2013.03.24

・子供たちの成長

幼稚園と小学校の卒園・卒業式に参加しました。幼稚園は53名・小学校は126名が活発に晴れやかに小学校へまた中学校へとステップアップしていく姿は樹木が一斉に芽吹き出すこの時期に相応しい。◆最近は蛍の光や仰げば尊しの曲が聞かれなくなり、新しい現代風のメロディーに後期高齢の身としては少々寂しい気もするが時代の流れなのでしょう。卒業証書授与も卒業生総代が一括して拝受するのと違って一人ひとりが校長先生から授かることは想い出深いことだ。特に幼稚園においては園長先生から一人ひとりに一言一言褒める言葉に暖かい愛情が届いてくる。◆心は不思議です。絶対に変わらないと見えても、人の言葉に触れて心は動きます。善意の言葉を聞けば心の善性が共鳴します。香り高い蘭の花の部屋にいと、その香りが体に移るように、善人に触れると、その善の感化を受けます。子供には 善いところを見つけて、おいに褒めてあげたい、褒められた行為や言葉は、終生 忘れ得ぬ美德として心に持ち続けるに違いない。

2013.03.31

・夫婦和楽

今日は曇天であるが近場で枝垂れ桜の花見だ。株価も上昇し世間では景気が上向きと少数の人が語り、国は高齢者のタンス預金消費を促すが、高齢者がそんなに蓄えがあるのだろうか、低所得で我慢してきた昭和初期生まれの我々は、貧乏に貧乏を重ね日々節約・節約だった。中小企業に従事した国民には余裕のある生活は望めない。◆夫婦して子育てに追われ贅沢といえば家族の健康と笑顔であるが、それは何物にも代えがたい宝であろう。後期高齢が目の前に、お金はなくとも健康が夫婦和楽の源であり「鴛鴦の契り」こそ財産である。

2013.04.07**・体調に異変が**

4月2日に頭が朦朧とし立っておれず横になる、今までに経験したことのない感覚、一時間は経過したろうか状態は変わらず。妻「恐山」が血圧を計測すればと。上が219で下が121これは心配。取りあえず主治医に電話するが午後で休診、救急車というのが意識の薄れ程度で、近所に心配は掛けたくない。◆タクシーを手配し「恐山」がペースメーカー術を受けた「枚方公済病院」へ急患で受診。心電図では異常がなく、ここ3週間多忙を極めた結果ストレスも関係か、血圧降下剤を服用することとなり、2週間後に再診あり血液検査などを受ける予定。しかし、4日には頭が朦朧とし血圧降下剤の副作用だろう血圧180-90-79。血圧は常時変動があるしばらく安静にしておれば平常になろう。しかし、高齢になると異常を感じれば自己診断は禁物で主治医の診断を仰ぐべし◆今まで超多忙な日は多かったが異常なく歳のせいかも、しかしまだ心は青年期だ。今月は行事も多く少々の体調不良も多忙なら忘れることと気楽に考え、健康な日々を続けることは、自ら決めた齢104のゴールを遠くへ遠くへと追いやるようにして前へ進むもの、一度きりの人生だ苦も経験の妙薬、己が掲げる目標を持続させる喜びを感じることこそ肝要である。◆今日は公民館がリニューアルされ、こけら落としを兼ねて地域の文化祭が開催され、秋田音頭を踊ってきました。結果は後期高齢者の踊りご想像にお任せします。人様の評価よりも自分本位で己が楽しむことに満足まんぞく。

2013.04.14**・新緑の入学・入園式**

風薫る新緑の9日市立橋本小学校の入学式が10時から行われました。老人会と民生委員として出席させていただきました。校長先生から男子71名・女子63名の134名で4クラス、児童一人ひとりの名前を読み上げられ、元気いっぱいの返事が体育館に響きます。幼稚園から小学校へと環境が変わりますが元気が何より、1年生ではジッとしている限界も30分まで辛いのもよくわかります。1年も経てば前を見据えしっかりとした態度で新入生を迎えるでしょう。成長した姿が楽しみです。全校生徒も777名と在校生は市内ではトップ。◆幼稚園に於いても園児は多く3歳児が48名入園し、4歳児34名5歳児54名の136名が元気いっぱい。将来を担う子供たちに地域住民が期待し成長を見守っています。

2013.04.21**・恥ずかしながら**

何時ごろからだろう照れくささが薄らいだのは？と、言うのも盆踊りの輪の中に入ったことだ。定年後に地域活動に携わり、お役のために町内の盆踊りで法被を着用し地域の文化を伝承する”橋本音頭”を踊ったのがきっかけであり、これも役員としての必要性からであった。◆それ以来、運動会では大団扇を振り応援に興じ、文化祭や敬老の集いでは日本の民舞を、メンバー１２人の中で男性は拙生一人、動作のもどかしさを自覚しながら観客の前で踊る。照れくさを完全に克服し、厚かましさが強まってきた。◆これは我が妻「恐山」の後押しが大きく何事においても前向きに取り組む姿勢は見習わなければならない。踊りの発表前などは、早朝・昼食・就眠前に叱咤されながら特訓が続き、妻と拙生が混じった踊りの成果をご披露したい。◆八幡市シルバー人材センターのページに You Tube にアップされた「やわた四季の詩」のフォルダーからご高覧ください。来年は喜寿を迎える拙生、動きの鈍さが取り柄です。<http://www.sjc.ne.jp/silverpc/> ◆「志を立てるのに遅すぎるということはない」ボールドウィン。定年後に活動の場を頂き、元気に過ごせることに感謝・かんしゃ。

2013.04.28

・ 本年の行動指針

春陽麗和の季節になりました。早朝には肌寒さも感じほんの少し暖房をいれる贅沢をしています。”寒ければ庭木の手入れに動け、地域活動には汗水流せ”と我が「恐山」の姿勢が後押しする。4月は行事も多く所用に明け暮れた。老人会の総会も昨日に済み貴重なご意見や親睦の有意義な一日であった。高齢者の仲間が笑顔で元気に過ごせる事を願って活動するのが私たちの使命、役員のボランティア活動に感謝したい。◆平成25年度は己の行動目標を定め人との絆を深めたい。人々と接する中で見えるのはその人の一部分、それを全てだと思い込み、「あの人は恵まれている」と、人を羨んでも何にもならない。隠れた努力に目を向け、そこに学び、得られるものの方が大きい。人間は交流の中で励まし合い、触発し合います。人との巡り会いは希望と歓喜と、そして夢の達成意欲を引き出してくれます。人との出会いには”一期一会”で接し、人の心の痛みを感じ取り、人の優しさに感謝し、会えた喜び、語る喜び、励む喜びが、明日への期待が芽生えます。一人の人を大切にする精神で誠実に人と接することで信頼と愛情が生まれ「愛は幸福の財布である。与えれば与えるほど、中身が増す」とミューラーの言葉にあります。その信頼と愛情の絆が私の宝です。きょう、明日は、どのような素敵な出会いがあるでしょう。会った全ての人に心から「ありがとう」の言葉から始めて参ります。◆それらを実行するためにも「自助・共助・公助」の三つを機能させ、心の絆を結び住みやすい地域社会を町内会、老人クラブ連合会と協力して推進し、人は幸せだから笑顔になるのではなく、笑顔になることで幸への道筋を歩めると確信して、この心の絆を深める活動をして参ります。

2013.03.～2013.04

E N D